



「広葉樹資源の育成・有効活用」に向けた取組

【林業木材課】

道では、令和3年度に改正した「森林づくり基本計画」において、「広葉樹資源の育成・有効活用」を重点的な取組として位置付け、広葉樹資源の価値向上に努めています。

その一環として、需要の高い広葉樹の取引情報等の発信を行うため、去る2月24日、旭川市で開催された「銘木市」での取引状況についてお知らせします。

今回は、35種の銘木が出品され、中でもタモ、ナラ、センを中心に、買い意欲は高い傾向にあり、全体の平均落札単価は約67千円/m³、元落ち率も0.7%と盛況でした。

第463回銘木市概要

□出品数量・販売金額

- 【出品社】20社
- 【樹種】35種類
- 【本数】10,772本
(官材2,234本、民材8,538本)
- 【材積】約2,900m³
(官材約600m³、民材約2,300m³)
- 【販売金額】約206,793千円
(官材約30,685千円、
民材約176,108千円)



□高額落札樹種

ナラ	440千円 / 0.6m ³
ポプラ	360千円 / 1.1m ³
タモ	290千円 / 1.9m ³
クルミ	271千円 / 0.7m ³
メジロカバ	260千円 / 0.4m ³
セン	240千円 / 0.7m ³

主要樹種の平均単価 (m³/千円)

タモ	52千円	キハダ	19千円
メジロカバ	52千円	カツラ	31千円
セン	39千円	ナラ	101千円

※金額：千円未満四捨五入
※数量：百m³未満四捨五入



【問い合わせ先】

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
水産林務部林務局林業木材課 林業金融係 電話：011-206-6578
URL：<https://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm>